

～風は白浜から～

令和5年度もすでに2ヶ月が過ぎ、南紀白浜は夏モードにギアを入れ替え加速中。昨年に引き続き、5月3日には「本州一早い海水浴場開き」を実施し多くのメディア露出を果たし、「南紀白浜の夏の始まり」を強く印象づけました。

梅雨が明けるといよいよ夏本番！海水浴シーズンが到来します。南紀白浜観光協会では夏の海水浴事業として、コロナ前のような飲食物やパラソルの販売、各種レンタルを昨年より規模を拡大して実施する予定です。多くの海水浴客に喜んでいただける「おもてなし」をしていきます！



夏イベントの記者発表を実施しました

4月10日(月)、夏のイベントについて記者発表を行いました。参加いただいた報道関係者は新聞、テレビ、ラジオ、合わせて9社と多くのメディアが南紀白浜のイベントに興味関心を示してくれました。発表内容は、①海開きイベント ②テントサウナ実証実験 ③南紀白浜エアショー2023 ④第8回南紀白浜トライアスロン大会 ⑤第37回献湯祭 ⑥南紀白浜温泉メッセージ花火 ⑦SHIRAHAMA2023花火ラリー ⑧南紀白浜花火フェスタ と南紀白浜の夏を華やかに彩るイベントばかり。発表翌日には早速大手新聞社が、「夏の予定 白浜ありきで」と取り扱い、記者発表の成果が現れました。

4年ぶりに南紀白浜エアショー2023が開催されました

5月6日(土) 白良浜海水浴場上空にて世界で活躍される室屋義秀さんによる『南紀白浜エアショー2023』（南紀白浜エアショー実行委員会主催）が4年ぶりに開催されました。不安定な天候で開催も危ぶまれましたが、予定通り午前・午後ともに無事開催することができました。約7,000人の観客が迫力あるアクロバット飛行を見上げ大きな歓声を送っていました。

有間皇子碑記念式典・献湯祭を行いました

6月1日(木)、第37回献湯祭が開催されました。4年ぶりの行列行進も行われ普段の献湯祭が戻ってきました。温泉の恵みに感謝するためこの日の一番湯を奉納しますが、それに先立ち、白浜温泉を世に知らしめた有間皇子への感謝を込めて石碑前で神事式典を行いました。



和歌山大学観光学部 地域連携プログラム 始動！



昨年10月から準備を進めてきた和歌山大学観光学部との連携事業「地域連携プログラム（LPP）」が始動しました。

「白良浜他海水浴場における集客アップ及び顧客ニーズにあったサービスの企画開発」と題し、4月からの学内公募の結果、16人の1・2回生が2年間のプログラムに参加してくれることとなりました。5月31日（水）に和歌山大学にてキックオフミーティングを開催し顔合わせを行いました。夏の南紀白浜に思いを寄せる学生やマーケティングと商品開発に期待に胸を膨らます学生など、志望動機は様々ですが、大学、学生、当協会、それぞれにとって有意義な連携になるよう、地域連携プログラム活動を進めていきたいと思っております。

地域部会（受入体制）主催手話研修を開催しました！

来年、第72回全国ろうあ者大会が和歌山市にて開催されます。その際多くのろうあ者の方が南紀白浜にもお越しになるであろうと考え、簡単でも手話を使って心のこもったおもてなしでお迎え出来ればと「障がいのある方のおもてなしと手話の研修」を企画し開催しました。手話が分からない場合でも、口の動きや身振り手振り、空中に文字を書くなど、様々な方法で積極的にコミュニケーションを取ることで、ろうあ者に安心して楽しんで頂けることを学ぶことができました。



夏の催事・イベント情報（7月～9月）

SHIRAHAMA2023花火ラリー

7月16日・23日・30日 8月20日・27日 各日曜日 20:10～ 約15分

南紀白浜花火フェスタ

8月10日（木） 20:10～ 約30分

南紀白浜ドリームランタン "音と灯りのコラボレーション"

9月30日（土） 18:30～ 約60分

小規模分散型の花火イベント。海上ならではの水中スターマインは見応え抜群。約800発を打ち上げます。

約3,500発の花火を打ち上げます。（台船からの打上げはありません）。露天商の出店はございません。

LEDランタンが秋の白良浜を幻想的な空間にします。

一般社団法人 南紀白浜観光協会

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町925番地の7

TEL: (0739) 43-3201

FAX: (0739) 43-3202

メール: nankishirahama@nankishirahama.jp

URL: <http://www.nankishirahama.jp>



「登録をお願いします」



You tube



twitter



Facebook



Instagram